

平成30年度
市民との意見交換会
議会報告会

志摩市議会

- 一般会計補正予算（第5号）や指定管理者の指定などを含む47議案を可決
- 予算決算常任委員会で補正予算（第5号）で計上した「観光PR等推進事業」に関する附帯決議を可決

しまし議会だより 第53号

議案に対する各常任委員会での質疑内容は4～6ページをご覧ください

平成29年度
一般会計補正
予算（第5号）

附帯決議を可決



予算決算常任委員会で審査

従来、予算・決算に関する事項については、定例会・臨時会ごとに特別委員会を設置し審査を行ってきましたが、平成29年6月定例会で「志摩市議会委員会条例」の一部を改正し、予算決算常任委員会を設置したことから、12月定例会から常任委員会で審査を行っていただきます。

18日に開催された委員会では、付託された一般会計、特別会計および企業会計の補正予算を審査し、原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算の審査では、観光PR等推進事業を中心に活発な議論が交わされました。

この事業では、計上された普通旅費37万円の内容や目的等について多くの質疑があり、執行部からは「灯台を地域資源としてさらに活用するために、燈光会や灯台を観光資源として活用している自治体等へ視察に行く。また、伊勢志摩地域が連携して北海道で観光PRを行う。」との説明がありました。

これに対し委員からは「灯台を活用したイベントを開催することを目的に視察に行くのであれば、まず、灯台周辺の整備をしっかりとすべきである。」等の意見が出されました。

また、坂口委員からは「本市にある二つの参観灯台周辺の整備状況は、

全国から多くの人を招待し紹介できるような状況になっていない。とりわけ安乗埼灯台資料館の整備改修は急務となっている。この予算を執行するならば、灯台サミットのようなイベント開催までに市内灯台周辺の全体的な整備計画を市民と議会に示すことを執行部に求める。」とした附帯決議案が提出され、採決の結果、委員会は賛成多数でこれを可決しました。



安乗埼灯台
初点灯 明治6年4月1日



大王埼灯台
初点灯 昭和2年10月5日

審査の過程における主な質疑等

観光PR等推進事業

- Q. 普通旅費37万2千円の使い道は。
- A. 市内にある2つの参観灯台を地域資源として活用するために、燈光会や先進自治体等へ視察に行く。
伊勢志摩地域で連携して、北海道で観光PRを行う。
- Q. 平成30年度に灯台サミットのようなイベントを開催するのか。
- A. 参観灯台を持つまちで連携して、灯台ツーリズムのようなものに繋げていきたい。

** 附帯決議 **

この予算を執行するならば、灯台サミットのようなイベント開催までに、市内灯台周辺の全体的な整備計画を市民と議会に示すことを求める。

東海小学校・東海中学校の設置

- Q. 平成30年4月から東海小学校・東海中学校が新たにスタートするが通学はどうか。
- A. 安乗から通学する中学生と、志島・国府・安乗から通学する小学生はスクールバスになる。通学路の改修工事を行った。
登下校時には交通安全員を配置する。

指定管理者の指定について (安乗埼灯台資料館)

- Q. 資料館の展示内容や管理運営について考えるべきではないか。
- A. 平成30年度に向けて施設の改修や運営について検討する。

- 平成30年度各会計当初予算や海外留学応援奨学金条例の制定などを含む45議案を可決

平成30年度 会計別当初予算

会計区分		平成30年度	平成29年度	増 減
一般会計		260億 2295万円	278億 2723万円	△ 18億 428万円
特別会計	国民健康保険	68億 4797万円	79億 5125万円	△ 11億 328万円
	後期高齢者医療	14億 711万円	12億 9502万円	1億 1209万円
	介護保険	72億 5727万円	66億 6756万円	5億 8971万円
	下水道事業	5億 5139万円	5億 4660万円	480万円
	住宅新築資金等貸付事業	1082万円	689万円	394万円
小 計		160億 7456万円	164億 6731万円	△ 3億 9275万円
企業会計	水道事業会計	23億 3507万円	23億 8891万円	△ 5385万円
	収益的支出	15億 1845万円	15億 700万円	1146万円
	資本的支出	8億 1662万円	8億 8192万円	△ 6530万円
	国民健康保険病院事業会計	14億 592万円	14億 1554万円	△ 963万円
	収益的支出	12億 6888万円	12億 3291万円	3597万円
	資本的支出	1億 3704万円	1億 8263万円	△ 4559万円
小 計		37億 4099万円	38億 446万円	△ 6347万円
志摩市全体予算総額		458億 3850万円	480億 9900万円	△ 22億 6050万円

※市予算は千円単位で編成していますが、議会だよりでは万円単位で表示しています。
そのため、端数処理により合計が相違する場合があります。

審査の過程における主な質疑等

総合教育センター整備事業

- Q. 業務の内容は。
- A. 相談業務を最優先とし、2020年に正式科目になる英語教育等、新しい分野への教育現場のサポートにもしっかり取り組む。
- Q. センター長、臨時職員3名の人件費がそれぞれ年額180万円ずつとなっているが、熱意ある人材を探せるのか。
- A. 教職員OBの力を借りながら探していく。

安乗岬園地休憩舎整備事業

- Q. 施設のどの部分を改修するのか。
- A. トイレの全面改修と、手すり、廊下とトイレのドア等を改修する。

名水百選案内看板等改修事業

- Q. 看板製作費はどれだけかかるのか。
- A. 3基を建て替え、1基を増設する。
屋根付き説明看板が123万円、マップ付き看板が58万円、名水百選の看板が57万円、方向看板が20万円で、他に文字入れの費用が必要。合計で281万円になる。

サンライフあご改修事業

- Q. 改修するための総事業費はいくら必要か。
- A. 今回建物の劣化度調査をし、修繕が必要な箇所を把握する。調査結果を見て総事業費を検討する。

審査の過程における主な質疑

灯台ワールドサミット開催事業

- Q. 計画にある伊勢志摩の灯台めぐりの対象はどこか。
- A. 安乗埼灯台、大王埼灯台のほか、麦崎、御座岬、鳥羽の菅島にもあるので、検討する。
- Q. シンポジウムと物産展の中身は。
- A. 灯台の活用をテーマにした講演会と、参加自治体や協賛企業で灯台にちなんだPRを予定している。

**** 灯台ワールドサミットIN志摩 ****
11月10日(土)11日(日)
阿児アリーナ・安乗岬園地・大王埼灯台
周辺で開催



海外留学応援奨学金給付事業

- Q. 特別奨学生（志摩高校在校生で学校が行う語学研修に参加する生徒※）と一般奨学生（※以外）にわけた理由は。
- A. 志摩高校の留学制度を支援したいという思いからである。水産高校へは別の視点からの支援を検討している。
- Q. 特別奨学金上限15万円・一般奨学金上限30万円と差をつけた理由は。
- A. 志摩高校の語学研修が30万円程度なので特別奨学金はその1/2の15万円とした。

本会議での討論

- 反対** 特別奨学生と一般奨学生にわけていることに違和感がある。補助金等の制度は条例で制定するものではない。
- 賛成** 今後の英語教育には必要な制度である。

- 一般会計補正予算（第1号）や条例改正などを含む5議案を可決

審査の過程における主な質疑等

磯部中学校校舎大規模改造事業

Q. 国から学校施設環境交付金が採択されなかった理由は。

A. 国の採択方針の優先順位が低かったと考えている。

Q. 交付金が不採択となり、財源が確定していない段階で入札した理由は。

A. 工事を夏休みに集中して行いたいことと、合併特例債を使えることを確認して入札をした。

長沢野球場等施設改修事業（造成工事）

Q. 年度が始まったばかりなのに、6月補正で事業費全額を来年度に繰り越す理由は。

A. 造成工事の発注が遅れていること、複数の工事の調整を図るために工期を延長したい。

人権教育総合推進地域事業

Q. この事業の内容は。

A. 志摩小学校の児童が教育集会所へ訪問学習に行ったりフィールドワークをする。

⇒教育長が「事業の内容を知らない。この予算を撤回する。」と発言。その後、教育長からこの発言に対する訂正と陳謝。

本会議での討論

反対 人権教育総合推進地域事業・長沢野球場等施設改修事業など、多くの問題を含んだ補正予算である。

賛成 教育長の問題発言と事業内容は別問題である。

- 平成29年度各会計決算認定や志摩市立国民健康保険病院訪問看護事業の設置等に関する条例の制定などを含む33議案を可決

審査の過程における主な質疑等

志摩市立国民健康保険病院訪問看護事業の設置等に関する条例

Q. どのような人が訪問看護ステーションを利用できるのか。

A. 主治医が訪問看護を必要と認めた場合や、介護認定を受けていて、訪問看護がケアプランに組み込まれている場合利用できる。

ブロック塀等撤去助成事業

Q. 助成金の上限額10万円で予算額100万円は少ないのか。

A. 応募が多数あった場合は、補正予算での対応も検討したい。

金融機関と、ブロック塀の撤去費用に対して低金利での融資制度ができないか協議している。

** ブロック塀等撤去事業助成金 **

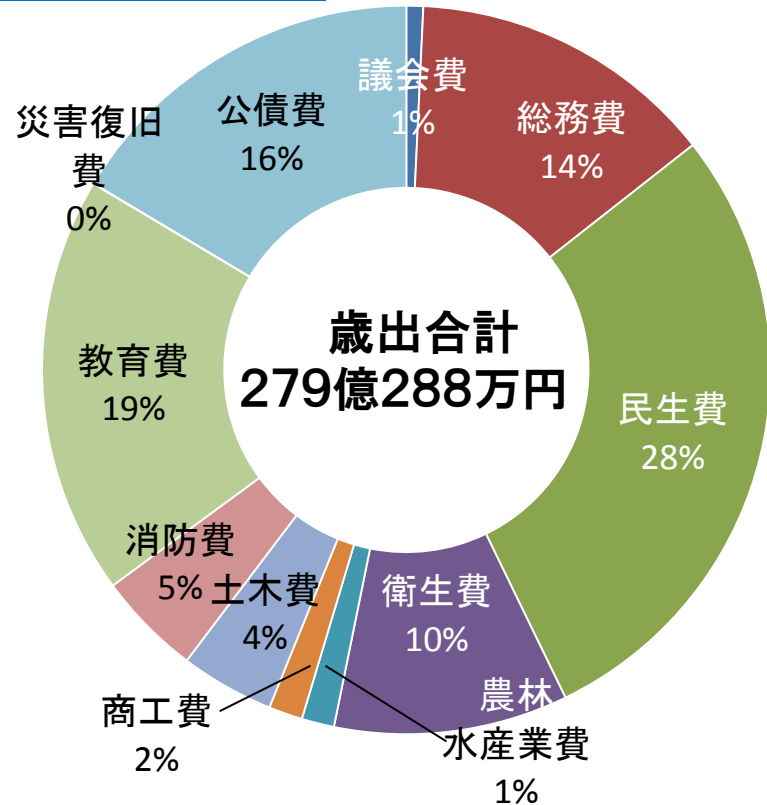
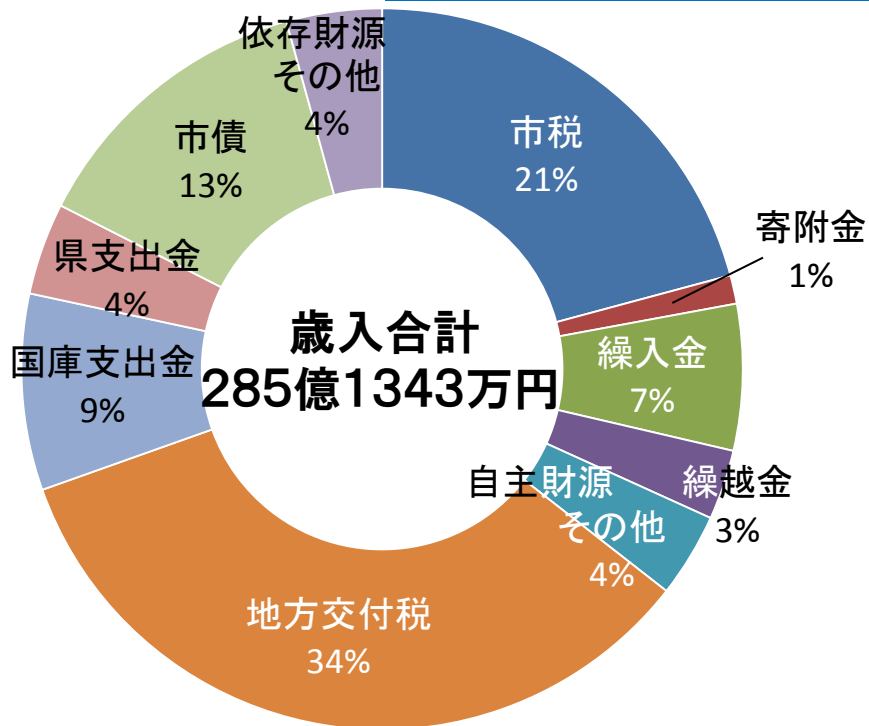
- 平成30年10月1日から予算額100万円に達するまで、先着順で受付開始
- 不特定多数の人が利用する土地に面し、道路面等から高さ60cmを超えるブロック塀等の撤去に要する費用の一部を助成
- 地中埋設部及び基礎を除く撤去等に要する経費と、撤去するブロック塀等の延長に1m当たり8,000円を乗じて得た額を比較し、いずれか少ない額の1/2に相当する額
(上限額10万円)

★助成金を受ける場合、助成金以外の撤去費用を、市内の百五銀行・第三銀行・鳥羽志摩農業協同組合から低金利で融資を受けることができるようになりました。

平成29年度一般会計決算額

実質収支 5億8872万円の黒字

平成30年第3回定例会



平成29年度特別会計決算額

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	85億9274万円	80億6305万円
後期高齢者医療	13億7133万円	13億5583万円
介護保険	70億5786万円	69億1070万円
下水道事業	5億1486万円	4億8229万円
住宅新築資金等貸付事業	1284万円	589万円
計	175億4963万円	168億1776万円

平成29年度企業会計決算額

会計名	歳入決算額	歳出決算額
水道事業会計	18億6498万円	23億7343万円
	収益的	17億8622万円
	資本的	7876万円
国民健康保険病院事業会計	13億2076万円	12億9541万円
	収益的	11億7176万円
	資本的	1億4900万円
計	31億8574万円	36億6884万円

審査の過程における主な質疑

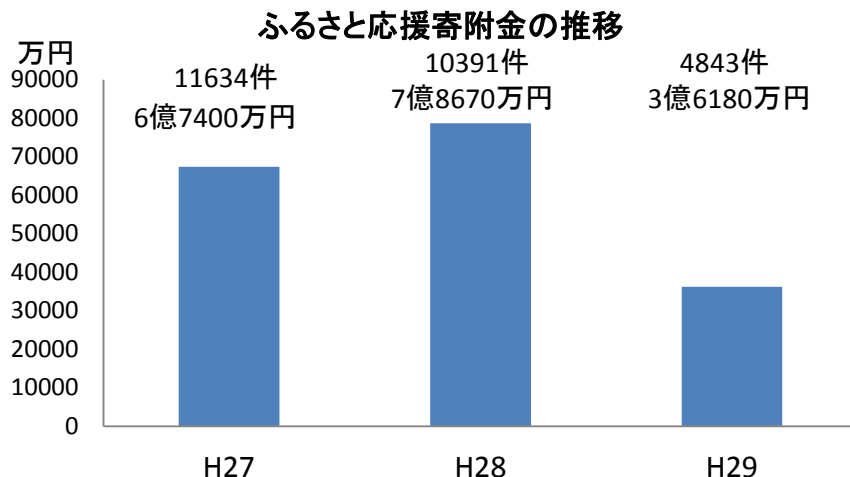
ふるさと応援寄附金

Q. ふるさと応援寄附金の推移は。

A. 平成27年6月から返礼品を開始し、27年度6億7400万円、28年度7億8670万円で、29年度は3億6180万円となった。

Q. 真珠製品と宿泊券を返礼品から除いたあと、どのような手立てを行っているのか。

A. 返礼品の数を増やしていくために、事業者等に声掛けをしている。



市議会議員選挙費

Q. 期日前投票に行く人が増えているが、今後の期日前投票所の対応は。

A. 費用対効果も考えながら、投票がスムーズにできるような対応を検討する。

津波避難タワー安全性検証業務等

Q. 畔名地区津波避難タワー、甲賀小学校屋上、国府漁村センター緊急避難所の検証結果は。

A. 発生する確率は極めて低いものの理論上は起こり得る最大クラスの南海トラフ地震に対する安全性はないことがわかった。

Q. 今後の対応は。

A. 自治会とも話をしながら、新たなタワーの建設等に向けて検討をしている。